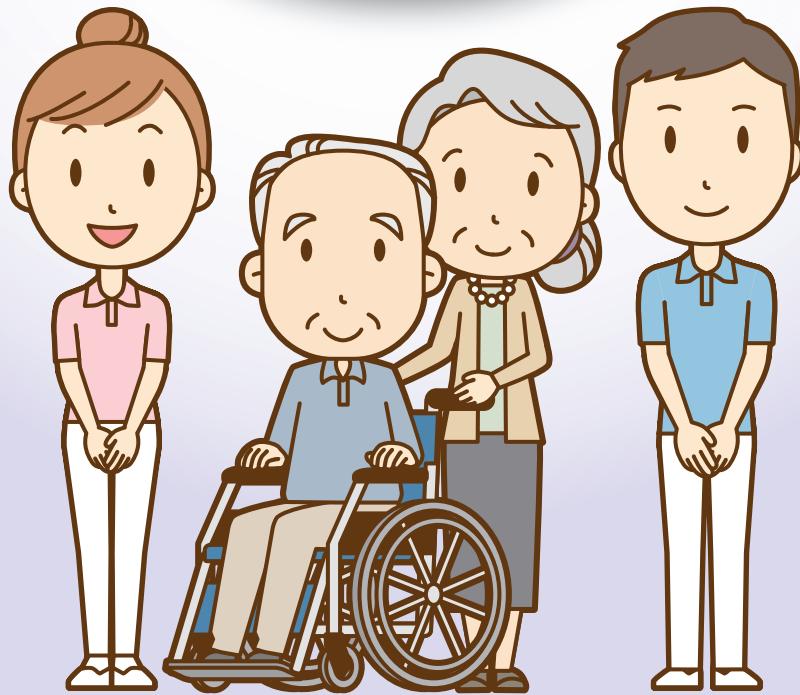


令和2年度

がんばる 介護事業所 表彰



要介護度の維持改善や雇用環境の改善に取り組む
富山県内の介護事業所等を紹介します

「がんばる 介護事業所表彰」とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、
介護職員の意欲向上につながる
人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組み、
他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰し、
これを広く周知することにより、
介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

以下の2部門を設定し、それぞれ該当する事業所等を表彰しています。

今年度の特徴

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対応するため、サービスの継続
や雇用環境についての工夫などの取組みを表彰対象として追加しました。

要介護度維持改善部門

県内で下記サービスを提供しており、かつ開設から2年以上経過している介護保険施設・事務所

- ◎介護老人福祉施設（地域密着型を含む）
- ◎介護老人保健施設
- ◎介護医療院
- ◎介護療養型医療施設
- ◎通所介護（地域密着型を含む）
- ◎認知症対応型通所介護
- ◎通所リハビリテーション
- ◎福祉用具貸与・販売
- ◎訪問介護
- ◎訪問看護
- ◎訪問入浴介護
- ◎居宅介護支援
- ◎訪問リハビリテーション
- ◎夜間対応型訪問介護
- ◎居宅療養管理指導
- ◎定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ◎特定施設入居者生活介護
- ◎認知症対応型共同生活介護
- ◎小規模多機能型居宅介護
- ◎看護小規模多機能型居宅介護
- ◎短期入所生活介護
- ◎短期入所療養介護

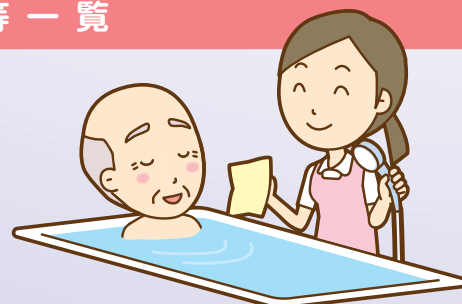
- 【取組み例】
- ◎ 利用者の状態に合わせた個別訓練メニューの作成により、身体機能改善者が増加
 - ◎ ケアプランに「聞き書きボランティア」などインフォーマルサービスを取り入れたところ、認知症の症状が改善 など

新型コロナウイルス感染症対策に向けた取組み

【例】 施設に通えない利用者が自宅にいながらオンラインで面談や機能訓練を実施するなどサービスを継続

令和2年度受賞事業所等一覧

| 事業所名 | 所在地 |
|---------------------|-----|
| 特別養護老人ホーム エルダーヴィラ氷見 | 氷見市 |



表彰式

令和2年12月5日（土）

「令和2年度地域包括ケア推進県民フォーラム」
（於：黒部市宇奈月国際会館セレネ小ホール）にて



雇用環境部門

県内で高齢者福祉サービス又は障害(児)者福祉サービスを提供する法人又は事業所

- 【必須条件】**
- ① 労働基準法等、法令に沿った就業規則の整備
 - ② 労働基準法など労働関係法令、その他法令について過去3年間無違反
 - ③ 処遇改善加算Ⅰの届出
 - ④ 開設から5年以上

- 【取組み例】**
- 新人職員の研修の実施指導担当者に対する独自の内部研修の実施
 - 看護休暇・介護休暇の設定など育児、介護を両立できる取組みの実施
 - 職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボット等の導入
 - ICTの活用による職員の負担軽減や業務省力化
 - 職員表彰制度の導入
- など

新型コロナウイルス感染症対策に向けた取組み

【例】 学校休業等により発生した職員の負担軽減に関する取組み

令和2年度受賞事業所等一覧

| 事業所名 | 所在地 | 事業所名 | 所在地 |
|-------------|-----|------------------|-----|
| 社会福祉法人戸出福祉会 | 高岡市 | 特別養護老人ホーム七美ことぶき苑 | 射水市 |
| 社会福祉法人宣長康久会 | 富山市 | 社会福祉法人梨雲福祉会 | 富山市 |

表彰の経過等

募 集 令和2年8月～10月

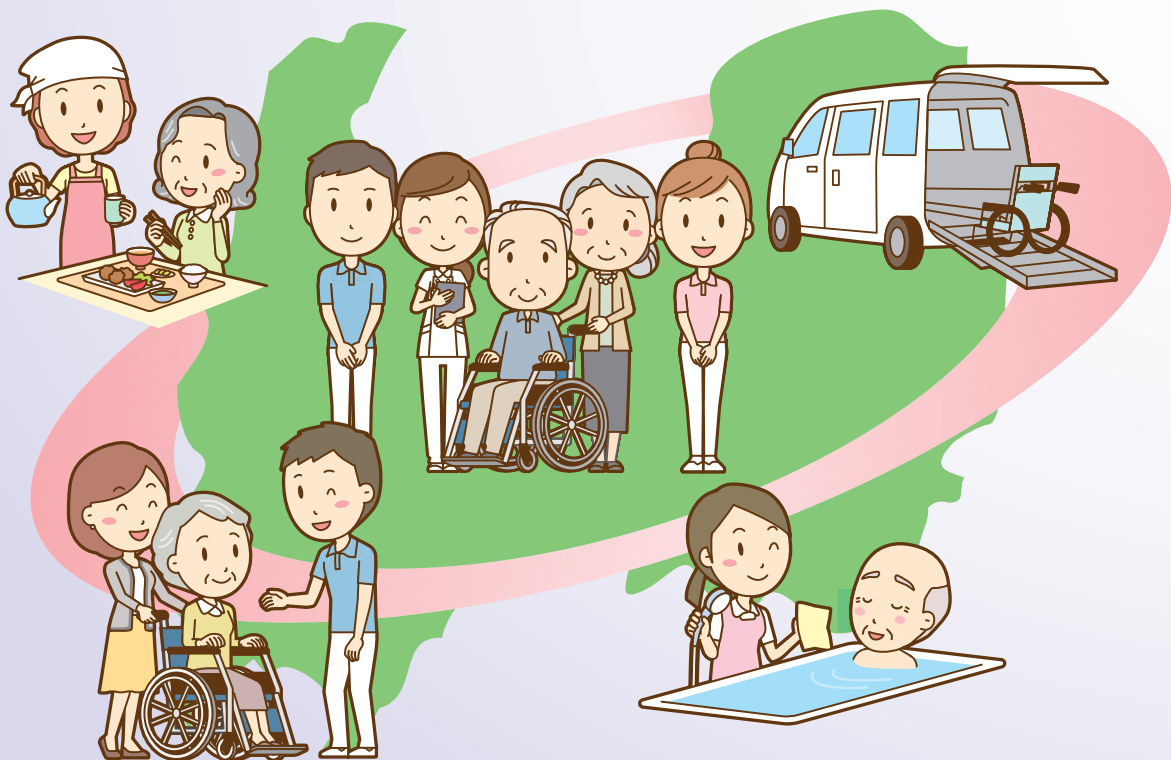
選 考 令和2年11月9日（月）要介護度維持改善部門
令和2年11月4日（水）雇用環境部門

表 彰 式 令和2年12月5日（土）

会場：黒部市宇奈月国際会館セレネ小ホール

「富山県地域包括ケアシステム推進会議」において

審査・選考方法 有識者による検討会の審査をふまえ、県が決定



要介護度維持改善部門

医療社団法人アスカ

老人保健施設エルダーヴィラ氷見

所在地 氷見市余川南山50

サービス 老人保健施設

電話 0766-72-5000

URL http://www.drshiraishi.or.jp/elder/elder_top.html

評価のポイント

- ★多職種が連携した転倒・転落防止の一体的実施により事故件数が減少
- ★利用者の自立度に合わせた生活環境を調整することで、身体能力の維持・改善を実現

居室環境シートを活用し多職種が連携した転倒・転落予防の取組み

取組みを始めた背景・経緯、概要

- 近年、ベテラン職員などの定年退職が続き、介護福祉士を募集しても応募がないため、3～4年前から介護未経験者に間口を広げたところ、30～50代の方を多く採用できました。また、介護職員のマンパワー不足を多職種（看護、リハビリ、栄養、相談室など）で積極的に補いました。
- 一方、物の位置の変更など、わずかな居室環境の変化で転倒・転落事故が起きることがありました。

➡ 新人職員等が増えたことを契機に、慣れない人でも安全に統一した居室環境を整備し、転倒・転落を防止する取組みを実施しました。

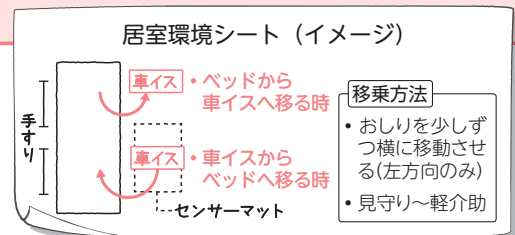
部屋を掃除したら、ポータブルトイレの位置がわからなくなってしまった…



取組みの概要・特徴・成果

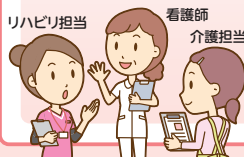
◎居室環境シートの活用の徹底

- ①多職種による入所前の話し合い
入所者の状態や環境から、転倒リスクを分析し、転倒予防対策を講じる
- ②居室環境シートの作成
・入所者の移乗方法や居室環境（転倒防止センサーマットの位置等）を記入した居室環境シートを作成し、ベッドサイドに設置
・月1回または状態変化時に検討を行い、見直しを実施



◎多職種が連携した、転倒・転落予防策の一体的実施

- ①ミーティングで情報共有
毎日の昼ミーティングや週1回多職種で転倒・転落予防策の確認や利用者の状況を情報共有



新人職員へのマンツーマンの指導やレクチャーも充実

- ②入所者ごとに各部門の担当を決定

Aさん担当表

| | |
|------|------|
| 看護 | ○○○○ |
| 介護 | △△△△ |
| リハビリ | □□□□ |

- ③ヒヤリハットの報告・見直し

- ・転倒・転落事故やヒヤリハット発生時には報告書を作成
- ・申し送り等で予防策の確認
- ・2週間経過観察を行い、随時予防策を見直し



「ヒヤリ」「ハット」した経験は事故を防ぐサイン!!

取組みの成果

| | H28年度 | R1年度 |
|-----------|-------|------|
| 転倒・転落事故件数 | 41件 | 26件 |

利用者は、介助者が変わっても統一したケアが受けられ、整った居室環境で安心して過ごせるようになりました。また、アセスメント評価から居室環境シートの活用、見直しの一連の丁寧な介入により、入所者の身体能力等に応じたケアを行い、自立度の維持・改善にもつながりました。



雇用環境部門

社会福祉法人 戸出福祉会 特別養護老人ホームだいご苑

所在地 富山県高岡市醍醐1257番地
サービス 介護老人福祉施設
電話 0766-62-0010
URL <http://www.daigoen.com/>

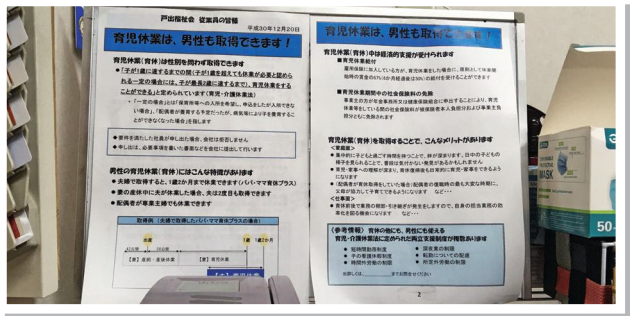
評価のポイント

- ★ 社会保険労務士による制度説明等を実施し、該当する男性職員が希望する日数の育児休業の100%取得を実現
- ★ 他職員への説明の取り組みにより、職場内での気軽な助け合いも実現

取組みを始めた背景・経緯

女性の育休取得率は100%ですが、男性職員は取得者がいなかった状況でした。男女平等であり、育休女性職員をカバーする男性職員も育児休暇を取得してもらいたい、夫婦で育児を楽しむと共に育児・家事の理解を男性も深めて欲しいとの思いがありました。

取組みの概要・特徴



常時タイムカード前に制度のチラシを掲示しておきました。その上で対象者に休暇を取得することへの不安解消のため、社会保険労務士※から趣旨や制度の詳細を説明してもらいました。希望育児休業日数を出産後のどの時点から取得するかについて上司と個別に話し合いを行い、所属事業所の他の職員に会議にて理解と協力を依頼しました。

※社会保険労務士…社会保険労務士法に基づいた国家資格者。採用から退職までの人事全般の相談、福利厚生から労働災害の防止対策までの相談指導などを行います。

特に工夫した点・苦労したこと

対象職員の収入面での不安解消のため、取得日数による給付金や保険料等のシミュレーションを作成して説明しました。

人材不足の環境下で、周囲に遠慮することなく休暇取得できるよう、対象職員が担当している業務の代替について関係職員で考え、所属事業所会議で他職員にも説明、了承を得るように図りました。

取組みの成果

【職員の声】

- 育児の大変さや楽しさを家族と共有することが出来たことそのものが良い経験になりました。
- 育休申請したくても周囲に遠慮していたのですが、上司から逆に「育休を取ったら」と言われ、気が楽になりました。
- 介護は女性が多い職場ですが、男性でも子どもの行事休暇等「お互い様」と気軽に助け合える事に繋がりました。

【法人全体の成果】

- 法定期間以上の時短勤務制度も取り入れる機会となり職員の福利厚生に繋がりました。



雇用環境部門

社会福祉法人 宣長康久会

特別養護老人ホーム ささづ苑

所在地 富山市下夕林141番地

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-467-1000

URL <https://www.sasazuen.or.jp/>

評価のポイント

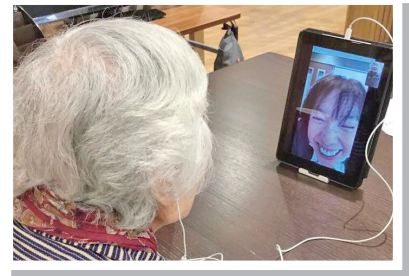
- ★コロナ禍で介護ロボットやICT導入により職場環境改善の追加整備を含む感染拡大防止を図りながらサービスの継続を実現
- ★対応状況を、マスコミや県内外事業所等への積極的な情報提供などを実施

取組みを始めた背景・経緯

職員が新型コロナウイルスに感染したことにより、より一層の感染対策の強化が必要と感じました。そのため、リモートワークにも対応したICT化を推進し、生産性向上とサービスの質の維持向上に繋がりました。

取組みの概要・特徴

- ① 情報共有ソフト更新や勤務表作成ソフト導入 (R1.11、R2.6)
- ② 移乗用介護ロボット、見守り支援介護ロボットの導入 (R1.11)
- ③ 現場職員の素早い情報共有のため、インカム導入 (R2.2)
- ④ Web面会・安心お便り便*システム導入 (R2.4)
- ⑤ 他法人との食事提供の相互協力協定締結 (R2.5)
- ⑥ 業務見直しと時間外労働の削減 (H31.4~)
- ⑦ 新型コロナウイルス感染対応と情報発信 (R2.4)



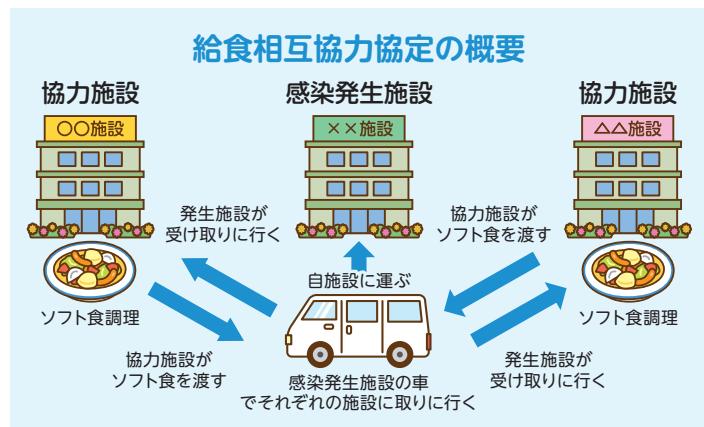
*安心お便り便…入居者家族に対し、入居者の近況を写真付きメールでお知らせします。

特に工夫した点・苦労したこと

感染拡大防止の観点から、ICT化を推進することで、職員の動線を最小限にできるようにしました。入居者家族を含め面会制限を実施したことから、Web面会やメールによる安心お便り便を一早く導入、インカムや情報共有ソフト、スマートフォンなどのICT機器の活用を行い、職員の負担軽減とサービスの質の維持向上を両立しました。

取組みの成果

- ICT機器を活用することでリアルタイムな情報共有が可能となり、業務負担を軽減し、生産性が向上しました。
- 災害や感染症発生時などの緊急事態に対し、高齢者のソフト食等について市内の3法人と相互協力協定を締結し、食事提供についても体制を整備できました。
- コロナ禍対応として、法人外からもアクセス可能な情報共有ソフトを導入し、リモートワークが可能な部署は在宅勤務を実施することで、職員の精神的負担の軽減と感染拡大防止が図れました。



雇用環境部門

特別養護老人ホーム 七美ことぶき苑

所在地 射水市七美891番地
サービス 特別養護老人ホーム
電話 0766-86-2500
URL <http://kijukai.or.jp/>

評価のポイント

- ★福祉用具と介護ロボット等の導入による接触点・接触機会が半減することを調査により明らかにし、利用者の不安と職員のストレス解消を実現
- ★接触箇所の特定を活かし、重点的な消毒を実施

取組みを始めた背景・経緯

手で抱え上げる介助では、職員と利用者との密着が生まれ、感染症の流行期には職員が利用者を感染させるリスクがあり、更に他の職員へ感染症が広がるリスク、対応に追われるリスク、その結果、職員不足を生むリスクが大きな不安材料でした。

取組みの概要・特徴

移乗用リフトや介護ロボットは、利用者のADL（日常の生活動作）維持とQOL（生活の質）向上、職員の負担軽減の目的で導入していましたが、感染症対策にも大きな効果があると考え、使用時の接触点に対する調査を行いました。

また、センサで睡眠状態を把握できる見守り支援介護ロボットを施設全床に導入し、利用者のバイタルサイン（脈拍、体温等）をリアルタイムで把握するとともに、訪室機会減少を図り、接触機会に対する調査を行いました。

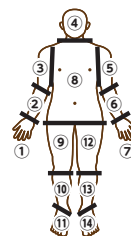


移乗支援介護ロボット

特に工夫した点・苦労したこと

移乗用リフトや介護ロボットを使用する際、職員と利用者が接触した箇所を特定しやすくするため、身体部位を14に分けて各部位の接触について調査しました。

見守り支援介護ロボットの導入には大きなコストがかかりましたが、施設全床に導入することで、均一のサービスを提供することができました。



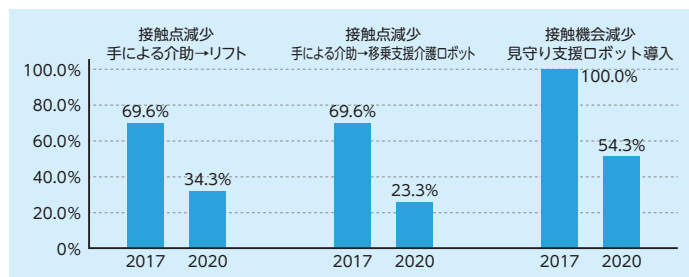
取組みの成果

利用者にとって施設内に感染症を運んでくるリスクがあるのは、施設の職員です。移乗用リフトや介護ロボットの使用で職員と利用者との密着がなくなり利用者の感染症に対する不安が解消されました。

同様に職員も自身から利用者へ感染させてしまうリスクのストレスが軽減し、距離感を保持しつつ対面で介助できることが安心へと繋がりました。

また、接触点を重点的に消毒でき、感染症のリスクを低減しました。

見守り支援介護ロボット導入により、不要な訪室や接触を避けることができ、接触機会が減少しました。



利用者の表情を見ながら介助

雇用環境部門

社会福祉法人 梨雲福祉会

特別養護老人ホーム梨雲苑

所在地 富山市吉作1725番地

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-436-2002

URL <https://www.riunen.com/>

評価のポイント

- ★新型コロナウイルス感染の疑い発生時に早急な対応体制の整備と実行を実現
- ★ゾーニングの対応や人員固定配置、職員勉強会の開催等を着実に実施

取組みを始めた背景・経緯

職員の新型コロナウイルス感染の疑い発生に際して、結果判明までその職員の出勤停止やゾーニングの対応、人員固定配置、職員の宿泊部屋等の準備、職員勉強会の開催など法人内の体制を整備、実行するとともに、感染症対策に取り組み、今後発生した場合の職員への安心感の醸成や早急な対応に繋がりました。

取組みの概要・特徴

職員の新型コロナウイルス感染の疑いが発生した際、法人内の新型コロナウイルス感染発生時対応フローに基づいて対応しました。具体的には、感染疑いが生じた職員が担当する入居者30名のフロアの内1ユニットの10名とユニット職員5名の内3名を濃厚接触者と想定し、その職員の出勤停止や、ゾーニングの実施、10名の居室入口に感染予防具を設置しました。

また、職員の固定配置や、非常時シフト作成、法人内で全職員にZoomでの勉強会も実施しました。

特に工夫した点・苦労したこと



配置職員（介護士3名、看護師1名）と他職員との接触をなくす工夫を徹底しました。配置職員と他職員の出入口や通路、休憩室、トイレを別々にしました。配置職員には宿泊部屋や生活必需品、浴室等を準備し、入居者の居室には使い捨ての感染予防具を常備しました。

取組みの成果

利用者からは、「個室のため住み慣れた場所で過ごせて安心した。」「顔なじみの職員に不安はなかった。」との声がありました。

職員からは、今回の経験から実際に発生した際は冷静に早急な対応力が求められることを実感し、「発生時のイメージがついた。」「シミュレーションすることで対応しやすい。」などの意見がありました。

職員の固定配置が早急なゾーニングの実施に繋がったことや、対応には日ごろからの訓練が必要と実感しました。今後も勉強会を継続し、法人内での情報の共有をしっかりと行うことで安心して働ける環境づくりに努めます。



〈参考〉過去の受賞者

令和元年度

【要介護度維持改善部門】

| サービス | 事業所名 | 取組概要 |
|------------------|-----------------------|---|
| 特別養護老人ホーム | 特別養護老人ホーム常楽園(上市町) | <p>地域の病院等との連携を通じた専門的ケアによる生活機能・状態の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚥下外来の指導内容を実践し、食べ物の飲み込みに障害がある利用者が減少 ・理学療法士の評価に基づくリハビリ等により、床ずれの発生ゼロ |
| 介護療養型医療施設 | 吉見病院(滑川市) | <p>専門家や多職種連携による徹底対策によりスキンテア発生件数が減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肌の乾燥により皮膚が剥がれること(スキンテア)を防ぐため、勉強会等を実施 ・移乗方法の工夫や、スキンケア方法の見直しなどにより発生件数が減少 |
| 通所介護 | 梨雲苑デイサービスセンター(富山市) | <p>施設の資源の有効活用による介護保険サービス外の地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス終了後のトレーニング器具を活用し、地域住民の健康づくりに貢献 ・参加者同士の交流も促進し、元気な地域づくりの一翼を担っている |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 射水万葉会天正寺サポートセンター(富山市) | <p>定期巡回サービスによる末期がんなど困難事例へのきめ細やかな対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との密な連携やサービスの柔軟な運用により、利用者一人ひとりに合わせたきめ細やかな対応を可能とし、利用者の自宅に住み続けたいという思いを実現 |
| 居宅介護支援事業所 | 射水万葉苑居宅介護支援事業所(射水市) | <p>独自のOJTシステムによる質の高いケアマネジャーの育成及び地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人育成に事業所全体で取り組み、指導者・新人双方の資質向上を図っている ・事例検討会等を地域の全居宅介護支援事業所を対象に開催し、地域に貢献 |
| 居宅介護支援事業所 | 千石ケアサービス(富山市) | <p>多様な分野とのネットワーク構築によるインフォーマルサービスの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、ボランティア団体など様々な分野のコミュニティとの関係づくりに努め、積極的にインフォーマルサービスを活用することで、在宅生活の継続を実現 |

【雇用環境部門】

| 法人・事業所名 | 取組概要 |
|--|---|
| トータル・メディカル 津沢株式会社 (高岡市) | ICTの活用による残業時間の減少、利用稼働率アップを実現 <ul style="list-style-type: none"> ・端末タブレット機器の導入により、介護記録時間を短縮し、残業時間が減少 ・介護記録時間の短縮効果を個別機能訓練等の充実に活用し、利用稼働率が上昇 |
| (社会福祉法人喜寿会) 特別養護老人ホーム 七美ことぶき苑 (射水市) | 腰痛予防プロジェクトによる腰痛リスクの軽減を実現 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを立ち上げ、腰痛リスクの軽減や職員の資質向上に継続的に取り組む ・独自の福祉用具使用許可試験で、利用者・職員ともに安心・安全な介助を実現 |

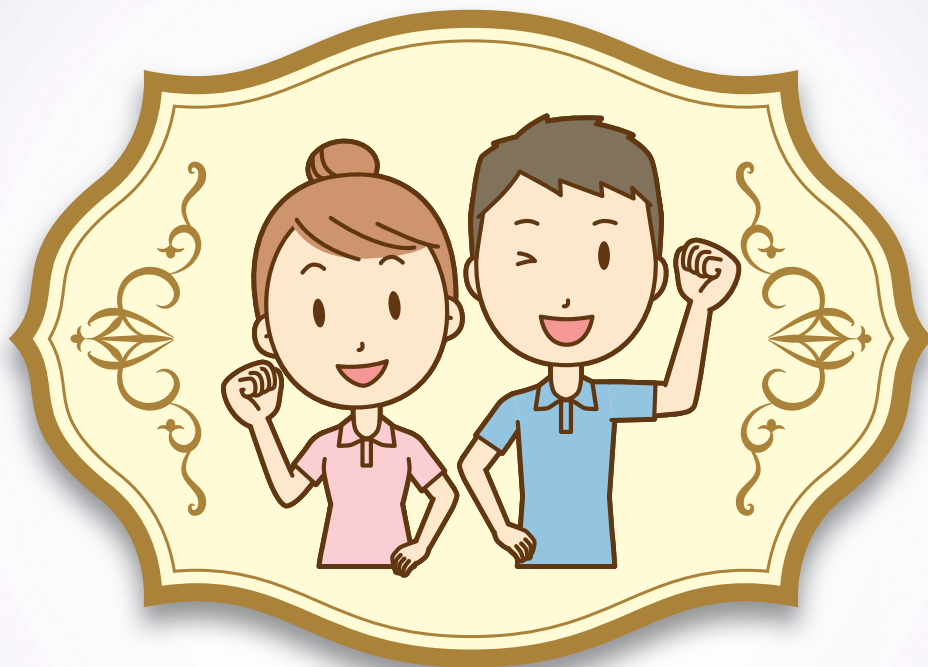
平成30年度

【要介護度維持改善部門】

| サービス | 事業所名 | 取組概要 |
|--------------------------|-----------------------------|--|
| 介護老人 福祉施設 | 特別養護老人ホーム かがやき (高岡市) | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の望む生活の実現に向けた丁寧なアセスメントの実施 ・多職種が連携した協議による個別ケアの実施 ・新たに配置した専門家（理学療法士）の視点を踏まえた機能訓練の実施 |
| 通所介護 | ふしき苑 デイサービスセンター (高岡市) | <ul style="list-style-type: none"> ・外出支援の経験を活かした新幹線旅行の実施 ・利用者への意欲喚起による身体機能やQOLの向上、生活の活性化の実現 |
| 定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護 | 福寿会北部 定期巡回センター (南砺市) | <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域における、介護・看護の両面からのアセスメントを踏まえた24時間365日の在宅生活支援 ・地域資源を活用した、地域ぐるみでの課題解決 |

【雇用環境部門】

| 法人・事業所名 | 取組概要 |
|----------------------|--|
| 医療法人社団アスカ (氷見市) | <ul style="list-style-type: none"> ・先輩社員による指導制度の導入や資格取得支援制度の充実による人材育成 ・管理職へのマネジメント研修の実施による職場環境整備 |
| 社会福祉法人海望福祉会 (魚津市) | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向けた研修支援や人材育成に向けた制度の充実 ・ICTの活用による記録業務に関する残業ゼロの実現 ・育児・介護の両立に向けた積極的な環境整備 |
| 社会福祉法人マーシ園 (南砺市) | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉機器の導入や腰痛予防研修の実施による職員の負担軽減 ・資格取得に対する手当や結婚・出産祝金などの充実によるモチベーションアップ |



がんばる介護事業所表彰

令和3年3月発行

編集発行／富山県厚生部高齢福祉課
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-431-4111(代)